

# 第六十六回 全国俳句山寺大会

## 閑さや岩にしみ入蟬の声

芭蕉翁が曾良と共におくのほそ道の旅で山寺を訪れたのは元禄二年五月二十七日(新暦七月十三日)です。

当俳句大会は芭蕉翁の山寺来訪を記念し、

毎年この時期に開催しています。

本年は選者として細谷暁々先生をお招きします。

多くの皆様のご投句、俳句大会へのご参加をお待ちしております。

蟬の鳴く七月に山寺でお会いしましょう。

主催

公益財団法人山形市文化振興事業団  
山寺文化保存会

共催

山形県俳人協会  
山寺観光協会

後援

山形市教育委員会、山形市芸術文化協会、  
毎日新聞山形支局、読売新聞東京本社山形支局、  
河北新報社、NHK山形放送局、山形テレビ、  
産經新聞山形支局、  
全国俳句山寺大会実行委員会

主管

河北新報社、NHK山形放送局、山形テレビ、  
全国俳句山寺大会実行委員会

# 第六十六回 全国俳句山寺大会

## 作品募集要項

**選 者** 細谷 嘸々  
徳田千鶴子  
小島 健

俳人 小児科医  
「馬醉木」主宰

阿部月山子  
鈴木 正子  
伊藤 寛

公益社団法人俳人協会副会長 「河」同人会長  
「春耕」同人 「万象」同人 山形新聞「やましん俳壇」選者  
「初蝶」同人 「胡桃」主宰 山形新聞「やましん俳壇」選者  
「古志」同人 「芯」同人

牧 静  
伊藤 ふみ

「馬醉木」同人 毎日新聞「みちのく文苑」選者  
当季雑詠 未発表作品  
二句一組 一人三組まで

**応募方法**  
左記投句用紙に必要事項を記入の上、投句料を添えてお送り下さい。  
**応募作品**  
定額小為替の場合、宛名無記名として下さい。

二句一組で一、〇〇〇円

**令和五年五月十八日(木)必着**

〒九九九一三三〇一

山形市山寺 山寺芭蕉記念館  
「全国俳句山寺大会」係

**賞**

山形市長賞  
山形県俳人協会長賞  
山寺芭蕉記念館長賞

特選 各選者一句 賞状 選者色紙染筆他  
秀逸 各選者三句 選者短冊染筆他  
佳作 各選者十句 賞品

**発 表**  
入賞者(佳作を除く)にはご通知いたします。

※一、二重投句、類句、累想句は入選を取り消す場合があります。

※二、投句後の作品の訂正・変更はできません。

三、応募者全員に句集を差し上げます。

## 俳句大会日程

**選 者** 細谷 嘴々  
阿部月山子  
鈴木 正子  
伊藤 寛  
牧 静  
伊藤 ふみ

**日 時** 令和五年七月九日(日)  
午前九時受付開始  
令和五年五月十八日(木)まで、投句用紙でお申し込み下さい。  
**大会参加費** 一、〇〇〇円(大会当日受付にて)

**大会投句**  
嘱目二句(午前十一時締切)  
細谷 嘴々先生 特選一句 賞状 選者色紙染筆  
その他の先生 特選一句 賞状 選者色紙染筆  
秀逸十句 こけし  
佳作五句 賞品

秀逸三句 賞状 選者色紙染筆  
佳作五句 賞品  
秀逸三句 賞状 選者短冊染筆  
佳作五句 賞品

**俳句大会** 〔午前十一時から〕

大会式典(主催者・来賓挨拶、選者紹介)・  
兼題句(事前投句) 選評  
〔昼食休憩後〕

講演 細谷 嘴々先生

入選発表・選評・表彰

〔午後四時終了予定〕

※大会参加者には記念品を進呈いたします。

〔お問い合わせ〕

山寺芭蕉記念館

〒九九九一三三〇一

山形県山形市大字山寺字南院四二二三

電話 ○二三一六九五一二二二一  
FAX ○二三一六九五一二五五二  
http://yamadera-basho.jp

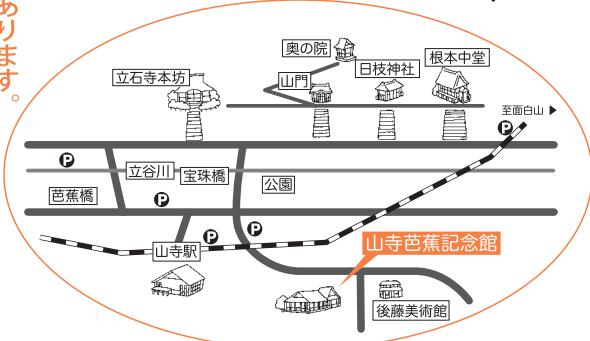
ご投句の際は、下記の宛先をご利用下さい

〒999-3301

山形市山寺 山寺芭蕉記念館

全国俳句山寺大会 係

作品在中



第66回全国俳句山寺大会投句用紙（コピー可）

投句用紙は一組ずつに切り離さないでご応募下さい。

句番号	句番号	句番号は記入下さいで下さい

句番号は記入  
しないで下さい

句番号	句番号
	句番号は記入しないで下さい

句番号は記入  
しないで下さい

句番号	句番号
	しないで下さい 句番号は読み入 れません

句番号は記入  
しないで下さい

住 所	
〒 一	
都 府	道 県
姓 号	
ふりがな	
電話番号	
( )	
( )	

※必ずご記入下さい。 俳句大会出席 欠席 大会参加費千円

投句数

組

合計金額（投句料一組千円）

(『おくのほそ道』より)

山形領に立石寺と云山寺あり。慈覺大師の開基にして、殊靜閑の地也。一見すべきよし、人々のすゝむるに依て、尾花沢よりとつて返し、其間七里ばかり也。日いまだ暮ず。麓の坊に宿かり置いて、山上の堂にのぼる。岩に巖を重て山とし、松栢年旧、土石老て苔滑に、岩上の院々扉を閉て物の音きこえず。岸をめぐり、岩を這て、仏閣を拝し、佳景寂寞として心すみ行のみおぼゆ。

閑さや岩にしみ入蟬の声



『おくのほそ道』文草本



立石寺(山寺)仁王門付近

## 全国俳句山寺大会実行委員会 山寺芭蕉記念館

〒999-3301 山形県山形市大字山寺字南院4223  
電話 023-695-2221 FAX 023-695-2552  
<http://yamadera-basho.jp>